第 11 回臨床研究審査委員会議事要旨

開催日時	令和2年1月30日(木)19:00~19:15			
開催場所	管理棟 3 階 特別会議室			
出席委員	※委員長に○			
	○齋藤、古宮、小島、金子、岩田、坂口、池澤			
事務局	水口、星野			

1. 審議事項

1. 併成事识				1			
説明医師	小林 道也	研究責任者	小林 道也				
課題名	化学療法未治療の高齢者切除不能進行・再発胃癌に対する CapeOX 療法の						
	第Ⅱ相臨床試験 <tcog gi-1601=""></tcog>						
審査事項	□新規 ☑継網	売(□変更 □定期報	告 ☑疾病等報告	□終了報告)			
議事概要	発言	内容 本日の説明者は、研究責任医師 がん治療センター 小					
	委員長						
		林 道也先生である。まず、一つ目の研究課題「化学療					
		法未治療の高齢者切除不能進行・再発胃癌に対する					
		CapeOX 療法の第Ⅱ相臨床試験 <tcog gi-1601="">」に係る重篤な疾病等について、簡潔にご報告願いただきた</tcog>					
		V'o					
	説明者	本研究において 2019 年 11 月 15 日に患者に投与したと					
		ころ、手の震えや痺れ、動悸を自覚し脳梗塞を心配され 救急搬送されたが、来院時には症状が改善した。 その後、問題はなかったか。					
	委員長						
	説明者	ホルター心電図を実施したが、心筋虚血を示唆する所見					
		はみられなかった。 原因についてご教示いただきたい。 Hb 低下やカペシタビン、オキサリプラチン投与の影響 があったと思われるが、入院後は臨床症状はなくなり改					
	2 号委員						
	説明者						
		善が得られ退院とな	った。				
	委員長	主管の審査委員会に	おいて承認されてい	、 るため、実施に			
		問題ないかと考える	。承認としてよろし	しいか。			
	委員	全会一致。					
審査結果	■承認	□不承認 □	継続審査				
	【条件】【理由】など。該当なし。						

説明医師	小林 道也	研究責任者	小林 道也			
課題名	FOLFOX plus panitumumab による一次治療抵抗または不耐となった RAS					
	wild-type、切除不能進行・再発大腸癌に対する2次治療としての FOLFIRI					
	plus panitumumab 療法の有効性に関する多施設共同第Ⅱ相試験・Liquid					
	Biopsy によるバイオマーカー発現の変化と抗腫瘍効果についての検討・					
審査事項	□新規 ☑継続(□変更 □定期報告 ☑疾病等報告 □終了報告)					
議事概要	発言	内容				
	委員長	それでは、二つ	目の研究課題「	FOLFOX plus		
		panitumumab によ	る一次治療抵抗まれ	たは不耐となっ		
		た RAS wild-type、	切除不能進行・再発	大腸癌に対する		
	2 次治療としての FOLFIRI plus panitumumab 療法の 有効性に関する多施設共同第 Ⅱ 相試験-Liquid Biopsy					
		によるバイオマーカ	一発現の変化と抗原	腫瘍効果につい		
		ての検討・」に係る重	重篤な疾病等につい	て、簡潔にご報		
		告願いたい。				
	説明者	本研究において 201	9年11月26日に患	者にプロトコー		
		ル治療としてサイク	ル 10 を投与したと	ころ、下痢が続		
		いたため即日入院と	なった。薬剤部の面	談後、下痢の発		
		現後もマグミット鏡	ご の服薬を継続してい	ハたことが判明		
		したため、調整いた	だくよう指導を入れ	た。		
	1号委員	プロトコール治療後	の発現であるため、	因果関係はある		
		ということか。				
	説明者	整腸剤を使用し下痢	を発症し Grade1 と	なったが、その		
		後の体調に問題はな	いため因果関係はな	いと考える。		
	委員長	今回、入院期間の延	長により 12月 13	日に「軽快」と		
		なり、退院となった。	。こちらも継続承認	としてよろしい		
		か。				
	委員	全会一致。				
審査結果	■承認	□不承認 □	継続審査			
	【条件】【理由】など。該当なし。					

3. 「高知大学医学部附属病院特定臨床研究に係る研究実施手順書」について

事務局から、前回の本委員会で承認された「高知大学医学部附属病院特定臨床研究に係る研究実施業務手順書」について、令和2年1月14日開催第185回病院運営委員会で承認され、2月1日付けに利用開始予定であり、次世代医療創造センターホームペー